

新潟県

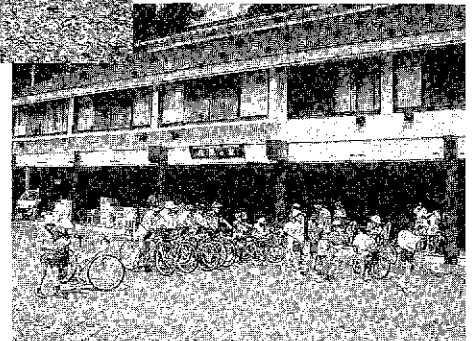
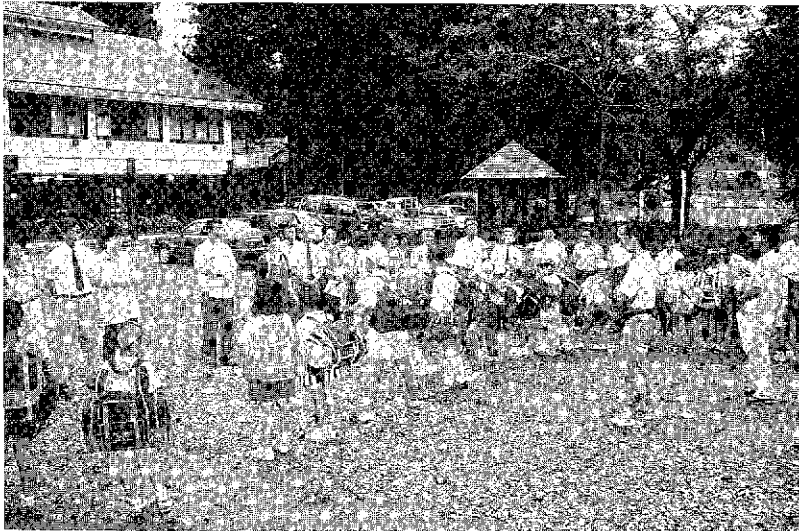
平成7年

公民館月報

7月

第509号

特集 越佐の自然にロマンを求めて —その1—



付近には、ブナの森

体験ゾーンやオリエン

テーリング常設コース

が整備され、賑やかな

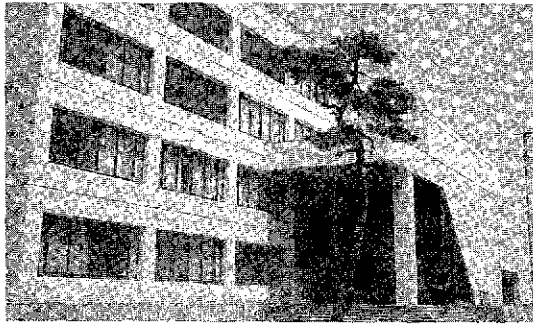
歓声にあふれています。

大島村

（写真・資料提供 東頸城郡
大島村公民館）

第二回理事会開催

優良公民館表彰は一館(小千谷市) 永年勤続者表彰は十氏



小千谷市公民館 <表1>

沿革
 昭和21年11月 小千谷町公民館設立(平成8年には、50周年を迎える)
 昭和29年3月 町村合併により、小千谷市公民館となる。
 昭和48年11月 小千谷市公民館として現在地に竣工。

施設設備の状況
 RC4階建 (3,033.45㎡)
 大会議室 598㎡
 大 会議室 204㎡
 中 会議室 88㎡×2
 小 会議室 44㎡×5
 和 室 37㎡×2
 調理実習室 88㎡

職員数
 公民館長 1人(兼任)
 本館関係職員 7人(兼任)

学級・講座
 ・少年対象 8
 ・青年対象 15
 ・女性対象 12
 ・成人対象 10
 ・高齢者対象 18

事業
 ・主なるもの
 ・夏期セミナー in 赤城
 ・小千谷いきいきセミナー
 ・生涯学習フェスティバル
 ・公民館地区振興大会 7地区

去る六月三十日(金)新潟市中央公民館会議室において、第二回理事会が開催された。

議題
 一、県公民館大会における優良公民館表彰・永年勤続者表彰の選考については、推薦のあった公民館一館、永年勤続者十名について適格と認められ表彰することに決定した。

優良公民館表彰を受賞することとなったのは小千谷市公民館(表1参照)。全国で一番古い公民館として知られ、地域に根ざした公民館活動や市の生涯学習基本構想に基づき、豊かな心

とたくましい産業のまわりの都市像を目指して活発な活動をしている成果が評価されたものである。

永年勤続者表彰については、(表2)に掲載してある諸氏である。

心からお祝いを申し上げる。なお、表彰は、来る七月二十八日(金)に開催される第46回新潟県公民館大会(弥彦総合文化会館)の開会式においてされることになっている。昨年から継続している議題「永年勤続者表彰規定の見直し」について審議され、次の理事会には、さらに明確にして、提示するよう話し合われた。

また運営検討委員会の「答申」の扱いについては、各地区に下ろして討議するという方針が先回に示されていたので、各理事から紙上報告や口頭報告があり、参考にするべき提案や意見がいくつか出された。これを今後とも引き続き、審議していくこととなった。

<表2>
 平成7年度
 新潟県公民館連合会
 永年勤続者表彰候補

氏名	所 属
外山 誠四郎	三条市中央・嵐南公民館
山崎 修	三条市井栗公民館
大桃 惣一郎	三条市井栗公民館
菅田 正男	三条市大島公民館
阿部 真一	十日町市中条地区公民館中条北分館
吉村 一夫	南蒲原郡中之島町公民館
鈴木 義キ	南蒲原郡中之島町公民館
保科 喜悦	上越市立公民館
安藤 喜作	新井市公民館
原 秀	西頸城郡名立町公民館

(敬称略)

県立生涯学習推進センター主催 生涯学習指導者研修会開催

去る五月二十三日(火)二十五日(木)の三日間、県立生涯学習推進センター主催の、平成七年度「生涯学習指導者研修会初級コース(前期)」が新潟県立青少年研修センターを会場に開催された。

市町村の社会教育・公民館等生涯学習推進に関する職員の初任者(主として一年未満)を対象に九月五日(火)に開催される後期研修へつながる。このたびの参加者数は五五名であった。

大部分の人は新任したばかりであるが、研修意欲で満ち溢れていた。

小学校三年生の教科書に「公民館」の学習内容が登場する。「公民館は何をするところ?」「公民館は地域の人びととどうつながっているの?」という子どもの素朴な質問と同様な心情だという研修生が多かった。その他主な研修は「生涯学習時代における社会教育」「男女共同参画型社会に向けて」「野外活動実践と協議」などと、県公民館連合会としては、「公民館の管理と運営」がコアであった。公民館の機能(教育機関として)や歴史・地域の課題・公民館の問題を最終課程で提示した。

後期(九月五日(火))には、ここで研修した基礎的・基本的な事項を実践をふまえて、地域の課題をたくさん持って、専門職としての意識をさらに高めて参加してきてくれるように期待している。

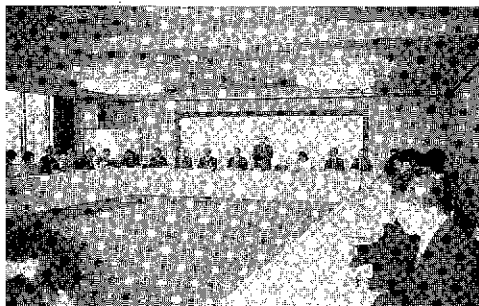
全公連總會終る

全国公民館研究集会は前橋市で

社団法人全国公民館連合会総会が六月十六日(金)、また都道府県事務局長会議が六月二十三日(金)に東京虎ノ門パストラルで開催された。

諸議事のうち、全公連の諸事業等の充実のため、事業計画では、調査検討委員会を設置して活動の見直しを図りつつある。また、海外研修本年度は「公民館に関する調査」の募集定員

を先年度から十名に増員したので奮って申し込んでほしいとのこと。公民館セミナーについては原則的に各都道府県一名としているが、事情によっては複数参加も受け付けるので申し込みたいこと。10月19、20日の全国公民館研究集会について、主管の群馬県公連から詳細な説明があった。



全公連事務局長会議

視点

私達日本人は、文明の発達とともに人類誕生以来初めてといわれるくらい飽食の時代に住んでいます。では、みな健康で元氣はつらつと生活しているかといえ、そうともいわれませんが、厚生省が毎

健康づくりに取り組もう

吉田 明雄

問題になっていきます。特に三〇、五〇代の働き盛りの年代の健康状態が悪いことがいわれ、その年代の突然死が問題になっていきます。なぜこうなったので

その重要なポイント「現代医学は、食生活や栄養の問題を無視した薬と手術の医学である。成人病(半健康)は現代医学では治らない。人間の体は、それ

「有病率」は毎年記録を更新していきすし、ガン、心臓病、脳卒中などの成人病が増加し、又、老人性痴呆症や寝たきり老人の増加などが大きな発表しました。

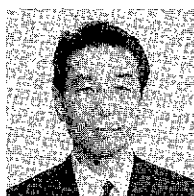
アメリカ上院の栄養問題特別委員会が先進国の「食物と健康の関係」を調査し、研究した結果を一九七七年に

を構成している一つの細胞が正常な栄養バランスをとっていれば、病気になる。病気が細胞が正常に働けるようにしてやれば治る。」ということを指摘しています。

アメリカでは、以前から食事を適切なものに変え、特定の栄養素を補うことで、多くの病気や症状が改善されるということが実証されています。積極的に食物と健康について勉強しましょう。(日本成人病予防協会会員健康管理士(一般指導員))

かかわって町おこし

関口 嘉弘



古くから公民館は、その性格上、最も地域住民とふれあい、最も幅広くかかわりをもつ所でもあります。「好きなことを申し上げてもよろしい」と

「かかわり」と言うことについて書きたいと存じます。現在の社会は「かかわり合う」と言うことについて目をむけない、いやそんな暇はない。いいえどうすれば良いのか、わからない。はたしてどうなのか。都会はそうでも我が町は、と考えておりましたが、どうやらそれは当てはまらぬことに気がつきました。

ひろば

つからと信じるからです。言うまでもなく、町づくりは人づくりにはじまります。人が輝けば町も輝きます。生意を申し上げれば、人を育てると言うことは、人と人がかかわってはじまると考えます。

いろんな所でいろんな場で、一人一人が輝けば、それは、たいした町おこしだと思います。

語り合い、人を認め、見守り、声をかけあえる町づくり、私自身多くの人よりきつと、そんなふうに着て頂いたのかもしれない。

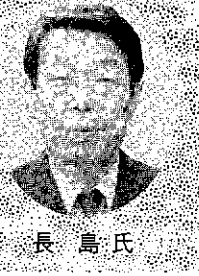
「この町が好きで、この町に住みたい」と言われる。そんな町づくりをかかわり合いで築き上げられたらすばらしいと思います。

その意味においても地域の情報発信ステーションとして、ますます公民館のはたす役割は大きいと存じます。

「学ぶ心、いつまでも」とても良いテーマです。住民といっしょに身近な所から始めようではありませんか。

(水原町公民館運営審議会委員)

を追って
ロマンを求めて
(その一)
と民俗
長島義介氏



長島氏

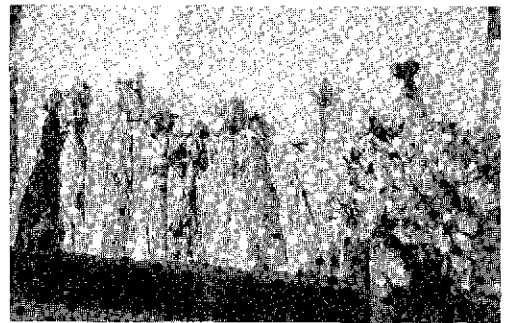
著者紹介
長島義介教授は昭和13年、西蒲原郡巻町に生まれ、中学校教諭、県立高校教諭を経て、現在新潟青陵女子短期大学教授として勤務されている。
西蒲原郡巻町双書のうち「角田山の博物誌(双書26号)」を上梓する中心的な役を果たされた。

昭和61年マリアを媒介するハマダラカの研究で医学博士号を取得された。
このたび、自然環境に深い研究をされている氏から、日本人の心のふるさとをゆり起こしてもらいたいと思いき寄稿いただいたものです。

雪割草の名の由来
ここでいう雪割草とは、キンポウゲ科のヘバチカ属植物のことです。江戸時代この植物は、葉身の形状からミスミグサ、ハマソウ、サンカクソウそしてユキワリソウの別称で愛玩されてきました。
わが国のヘバチカ属植物は、植物分類学的にはヨーロッパに

雪国新潟の山地には、雪解けと共に紅・白・紫と千変万化に咲き乱れる雪割草が自生しています。私は高校一年生の春、この花に初めて出会い、その可憐な花の姿に心を奪われてしまいました。教職についてから三十余年の間、ときには教え子と一緒に山に入り、雪割草の変異形態と生態に関する研究を行ってきました。私が研究を始めた頃は、未だ一般の人々の雪割草に対する関心はありませんでしたが、研究を進めている間に、自生地の人々がこの花によせる特別な心情に心ひかれるようになりました。

ここでは、神様が雪国に贈って下さった賜物であり、雪国の妖精ともいえる雪割草を越佐の自然の中で追い求めたきた私のロマンを紹介したいと思えます。

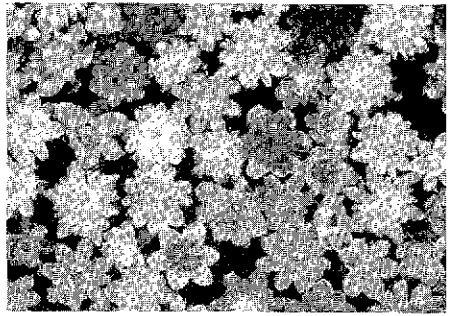


花迎え (岩井信夫氏提供)

群なのですが、中部日本海側(雪国)に分布するのはオオミスミソウで、葉や花が大きく変異に富み、花の色が濃く美しい花をつける特徴があります。現在園芸界でもはややされている雪割草の優れた品種の多くは、オオミスミソウの野性変異株であるといっても過言ではありません。
古書にみられる雪割草は、キクザキイチリンソウであったり、シヨウジョウバカマであつ

たります。昔の人々は、雪解けと共に花を開く植物、根雪を割って春を告げる草花を雪割草と呼んだのでしょう。
將軍吉宗の時代に著された「佐渡州物産」には、ユキワリ(雪破)の名でオオミスミソウの絵図が描かれています。
またオオミスミソウが雪割草と呼ばれるようになった由来については、天保1年に著された『長楽花譜』の巻頭に、雪を掘り割って株を採取するので雪割草と呼ぶと説明されています。
これはオオミスミソウの自生地を知らない著者が、付加価値をつけようとした業者の言葉を信じて書いたものと思われます。
この花の株を山取りするのに雪を掘って採取する人はいないはずだ。

広く分布する種ヘバチカ・ノビリスの変種に位置づけられ、主として葉の形質からミスミソウ、スハマソウ・オオミスミソウ、ゲスハマソウに分けられています。



雪国の宝石「雪割草」

雨は一軒の上だけに
降ることはない
ムラおこしの眼

「ムラ(村)おこし」という言葉で象徴される、地域社会を振興させる運動を成功させた、全国各地での実践事例に共通していえることは、

- 一、自分たちの住む地域の特性を十分に分析し、そのあつべき姿について、はっきりとした理念をもっていること。
- 二、新しい事業を興すためには、事前調査を、しっかりとやっていたこと。
- 三、リーダーとなる人物を育てる努力をしたこと。
- 四、しゃれたイベントと、ネットミングを考えていたこと。
- 五、文化運動との連携をはかっていたこと。
- 六、住民のやる気を引き出す行政の姿勢があつたこと。

という諸点を踏まえての実践がなされていたとみてよいようです。
わたしたちの地域でも、いま、これらの角度から照らしてみることが有意義あることと思えます。

昭和五十九年五月一日
元大洲公民館長 田邊正直

シリーズくらしの課題 特集 越佐の自然に

雪割草

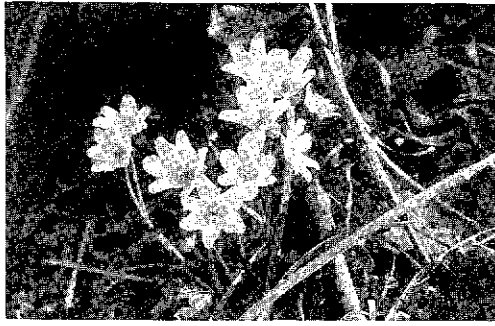
新潟青陵女子短期大学教授

しかし、雪国の花オオミスミソウは雪解けと共に花を開きますので、園芸家はこの花の俗称である雪割草の名を捨てがたく、和名にユキワリソウの名をもつサクソウ科の植物と混同しないよう、漢字で雪割草と書いて区別しているようです。

雪割草の方言

雪割草は葉に因む名が多いのに、新潟県では花に因んだ麗しい方言が沢山あります。

特に江戸時代雪割草の名産地として知られていた佐渡では、ツチザクラ(土桜)、ヂザクラバナ(地桜花)、チゴロンバナ(稚



野にさく雪割草

児殿花)、ヒナサンバナ(雛さん花)、ソウトンバナ(早乙女花)、ユキシタバナ(雪下花)、サンガツバナ(三月花)、セツクバナ(節句花)、ヒガンバナ(彼岸花)、本土側ではジザクラ(地桜)、サンカクスマミレ(三角蔓)、サンカクソウ(三角草)、そして隣りの山形県飛鳥ではチエンチャクマンチャク(千咲万咲)などの方言があります。これらの中で、葉に因んだものはサンカクソウ(三角草)だけです。

このことは、県内に自生する雪割草の特性を示唆しているように思われます。二十五年ほど前、世界の雪割草を見てきた園芸家が、新潟県の雪割草が一番美しいのではないかと思いますと話してくれたことがあります。

雪割草と民俗

新潟県には、方言に劣らず雪割草にまつわる麗しい民俗があります。なかでも、私が心ひかれるのは佐渡の外海府で行われていた花迎えの行事(右ページの写真)です。旧暦の雛の節句の前日、少女たちが山に入って雪割草の花を摘み、その花束を紙雛の前に飾るのですが、花摘みとは言わず花迎えというのです。

村人は「雛さんには必ずヂザクラバナを進んぜる。ヒイナさんは魂があつて、この花をみて喜ぶ」という素朴な伝承が受け継がれていました。

また可愛い女の子を愛でる言葉として「チゴロンバナのようだ」という褒め言葉があり、海府某句には「ハアィエェィ花になりたひヂザクラバナに、人にナアィほめられテェィノオィきりようがよい」とうたわれてもいます。

一方、雪深い東頸城郡松代町

桐山では、春になると、子どもたちが氷の張った沢を渡って山に入り、ヂザクラの花を摘み、誰が一番美しい色の花を摘んだか競い合う花遊びがありました。

そして同じ町の儀明小学校の校旗の紋章は雪割草の葉であり、校歌には「雪間をおしわけよるすの草にさきがけます咲く雪割草の雄々しさけなげさ鏡となりて日本の文化のために元気で学ぼう朝ごと夜ごと」とうたわれ、三島郡越路町岩塚小学校の校章は雪割草を図案化したものとされています。

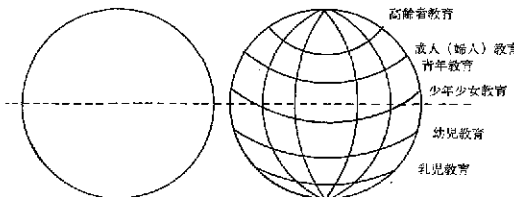
また見附市の山里では、雪割草の花を摘むと罰があたると老婆に聞いたことがあります。未だ県内の雪割草の方言や民俗に関する調査はほんの一部の地域に過ぎませんが、越佐の人々がこの花に寄せる心情はまた格別ということができるようです。(続)



【みすみそり】

生涯学習活動とコミュニティづくり運動との統一観

自己実現を通して自治能力を
社会参加を通して連帯感を (緯線——生涯教育活動)



(経線) コミュニティづくり (運動)

この六つの信条は、平成二年七月、新潟県公民館連合会40周年記念懸賞論文最優秀賞を受けた元柏崎市大洲公民館長田邊正直氏の「地域における生涯学習活動とコミュニティづくり運動を相関的に捉えた公民館(地区館)の運営」の中の一部から再掲させていただきました。深くかみしめてみたいものです。

疲れてる 夏こそ願う ゆとり運動

八月一日～八月二〇日

地域公民館活動

柏崎市内の場合 その(1)

鯨波公民館

鯨波の親子が観察会

「ヘイケボタルの乱舞に歓声」
市内鯨波公民館の青少年地域活動「くじらチビツ子探検隊」が九日夜、鵜川地区でホタルの観察会を開き、自然の中での光のファンタジーに歓声を上げた。

同館では、自然観察のふるさと学習として、毎年ホタルの観察会を開き、今年で三回目。この日は幼児から小・中学生、保



護者ら七十人が参加した。一方、鵜川地区では幼児や小学生、公民館関係者ら十五人が迎えた。

参加者らはまず鵜川公民館で佐藤俊男・市立博物館学芸員からホタルについて講義を受けた後、日暮れとともに、さっそくホタル観察へ。今の時期はヘイケボタルが飛び交い、見事な乱舞にみんな大歓声を上げた。

「鵜川小の人たちとホタルを通して楽しく交流が出来た」と参加者ら。自然をたっぷり満喫しながら、夏の夜を楽しんでいた。

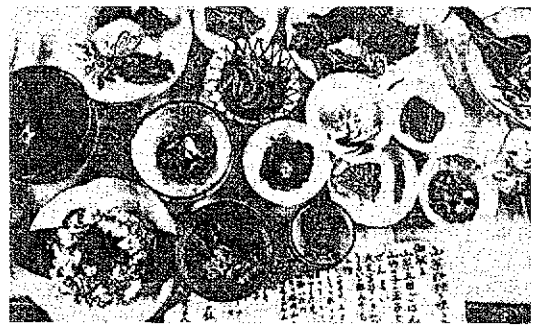
(H6・7月)

鯨波の子ビツ子探検隊が鵜川でホタルの観察。自然の中で光のファンタジーに歓声を上げていた。

黒姫公民館

山の幸づくしの手料理に舌つづみ

「黒姫の「味わう会」好評」
市内黒姫公民館など主催の「山菜料理を味わう会」が十八日、同館で開かれ、主婦ら約六十人が集まって、「山の幸づく



し」の手料理に舌つづみを打った。

「味わう会は昭和六十二年の第一回を皮切りに、今年は通算十二回目。地域の婦人グループ「やまびこ生活学校」が中心になり、食生活の見直しと活性化を図るため、転作野菜や周辺でとれる山菜を有効に使った郷土料理の研究成果を披露して来た。

二年ぶりの開催になったこの日の献立は「山菜五目ごはん」「山たけのこの卵とじ」「ぜんまい煮」「うるいの酢みそあえ」「うどの油炒め」など自家製の材料がふんだん。集まった人たちは伝統食の「あぶ」をアレンジした黒姫だんご、ぶき菓子などにも目を細めた。

前日から仕込みにフル回転していた地区の婦人らは三世代にまたがり約二十人。「皆さんから喜んでもらえ、細く長く続けていきたい」とにっこり。会場に飾られたカラーやアジサイなどの花が季節感を盛り立てていた。

地区の婦人らの手料理がテーブルに並べ切れないほどずらり2年ぶりの味わう会は大好評。参加者らは舌つづみを打ち、山の幸づくしを楽しんだ
(H7・1月の記事)

米山公民館

縁起物、伝統の「いんころ」作り

「米山地区民が楽しむ」

二月一日は「犬の子朔日(いんのこついちち)」。市内米山公民館ではこの日を前に、二十九日午後、ちびっ子からお年寄りまでが集まり、縁起物の「いんころ作り」を楽しんだ。

同地区では、かつてどここの家でも十二支の動物を形どった「いんころ」を作り、無病息災や五穀豊じょうなど一年間の無事を祈った。しかし近年はその風習も途絶え、子どもたちに伝統行事として残したいと、今から十三年前に復活させた。白い粉を練った後、赤や黄、緑など



の色を付けた十二支が次々と出来る。同館の金子館長は「今年も地区内のいろいろな所から参加してもらえ、地域の活性化や親子のふれあい、世代間の交流が深められると思います」とにっこり目を細めた。

(この記事は、柏崎市より提供いただいたものです。「柏崎日報社」のご厚意で了承を得て掲載させていただきました)

米山公民館で縁起物の「いんころ作り」。お年寄りらが先生役になり、ちびっ子たちに伝授した

サークル交流

描けそうな気になる 入広瀬いきいきライブ

水墨画教室

入広瀬村いきいきライブメ
ニューの一環として、公民館の
「楽しい教室」の中のひとつ、
水墨画教室が開設されて、五年
目を迎えました。

大島月庵先生(日本水墨院理
事長)のご指導をいただいて、
五月より十月まで十回の教室が夜
七時三十分から九時三十分まで
開かれます。

生徒は五年目のベテランから
今年初めての新人まで、老若男
女多彩な顔ぶれですが熱心に楽
しく取り組んでおります。



特に楽しみなのは、先生の見
事な筆使いによって、みるみる
うちに素晴らしい絵が出来上が
るのを真近かで拝見できること
と、家で描いてきたスケッチや
色紙を添削していただくこと
です。先生がほんの少し加筆して
くださると、絵が見違えるほど
生き生きとしてくるのです。そ
れで描き方のポイントが会得で
き、自分でも何とか描けそうな
気持になってくるから不思議で
す。

今年も秋の文化祭をめざして
精進しているところです。

(水墨画教室生徒 佐藤昭子)

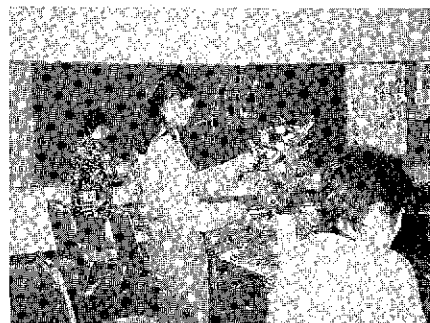
フラワーアレンジメント

村上市 つゆ草の会

平成五年九月に発足したばか
りの新しい会です。

月二回、夜七時頃集まり、花
を分け合い、先生より花の名前
や産地等の説明を受け、その日
のテーマに基づき仕上げてゆき
ます。未熟ゆえどこから挿して
よいやらしばしばにらめっこ。

上達云々よりも、先生が用意
して下さる、めずらしい花や色



との出逢いを楽しみに、毎回公
民館に足を運んでおります。

日中仕事を持つ主婦が多く、
夕食の支度に追われ、ドタバタ
した中でサツと食事を済ませて
飛んで来ます。しかしハサミを
もつと人が変わった様に、表情
は真剣そのものです。

打ち込めるものにめぐり逢え
た事の喜びと、これだけ豪華な
花が市価より安く手に入る事も
魅力の一つです。たとえどんな
に下手でも、玄関や居間に飾ら
れた花が演出する空間は、人の
心を優しくしてくれます。

忙しい仕事の合間をぬってご
指導下さいます先生に、会員一
同心から感謝しております。
(つゆ草の会世話人
剣持 静枝)

長岡市中央公民館主事補

阿部真理子 氏

「私の性格は、見たまんまの
楽天的で好奇心のかたまりのよ
うなものです。なんでも知りた
がって、いろいろ手を出してみ
たくなるので、職場の先輩方に
はご迷惑をおかけしてばかりで
申し訳なく思っています。」

四尺玉で有名な小千谷市片貝
町から愛車パジェロ・ミニで



通ってい
る。大花火
同様？ い
つも周囲を
明るく楽し

くさせてくれる。「人に喜びと笑
いを与える仕事」がモットーだ
というのだから、天性と実行力
がマッチした人物である。

勤務(庶務担当)後は、バド
ミントン(高校生時代もやって
いた)やテニスで汗を流し体力
づくりに励み、プライベートも
充実させている。大花火のエナ
ジー源はそこにあるのかも
……。

公民館活動はもとより、ずつ
と長岡市政全般でその力を発揮
してほしい。この4月新卒採用
の彼女で良。(長岡市中央公民館
遠藤 一夫 記)

素顔 拝見

新潟市中央公民館

小林久子 氏

社会人二年生で、すっかり公
民館職員が板に付いて来た。

公民館の仕事を通じて一番楽
しいと感じることは、色々な人
との出会いだと語る。昨年初め
て企画から携わった青年対象の
「ユースセミナー」での受講生
との出会いは、彼女自身にも大
きな収穫だったようだ。

持ち前の頑張りで着々と仕事
をこなし、今では「公民館の仕
事は大変だけど、やり甲斐があ
る」と頼もしい。頼もしいとい
えば、彼女には生活力があるこ



と。目下、
独り暮らし
だが毎日弁
当を持参す
る。またタ
フなこと。スマートな体のどこ
に、あれだけのエネルギーがあ
るのかと不思議だ。そして、この
若さで日本酒の旨さがわかるこ
とである。外見のナイーブさに
比べ、芯の強さを持つ実にさわ
やかな青年である。目標をしつ
かりと見据えて、様々な課題に
挑戦している今後に期待したい。

(新潟市中央公民館長
細川 仁 記)



信濃川ライン

舟下り(小千谷市)

抱かれる船の旅

日本一の大河信濃川に映る緑と、爽やかな風に吹かれて波しぶきをあげ下る、豪快にして爽快な舟の旅。乗船場の男山漁場(川口ヤナ)から

妙見堰までの1時間のコースは悠久の大河・信濃川が作り出した河岸段丘と美しい景観の大パノラマが広がります。

■期間/定期…8、9月の休日

臨時…5月から10月の間臨時

■料金/大人二、五〇〇円

子供一、五〇〇円

〇〇〇円 (臨時:貸切1隻五〇〇円)

■お問い合わせ/越後舟下り観

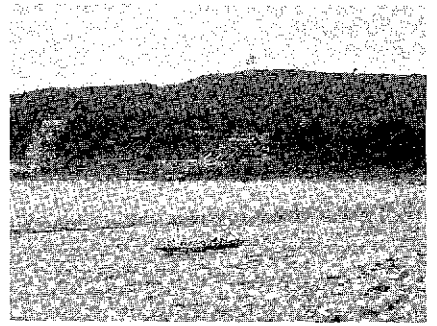
光線

☎〇二五八—八九—二五二五

(丸山建設内)

恵贈資料紹介

博物館だより(2)―豊栄市博物館
学習資料―新潟県婦人連盟
新潟県青壮年の高齢化社会に対する意識調査結果報告書(平成七年)―新潟県原長寿社会振興財団



悠久の大河

図書紹介

「感動」をキーワードに

公民館のサブイタル作戦

上村捨二郎 著

新潟県公民館連合会発行



新山協

「中高年登山教室」参加者募り―山岳事故防止 自然の中で生涯スポーツを!

主催 新潟県山岳協会

- 1 日時 平成7年9月9日(土)〜10日(日)
 - 2 場所 金北山・ドンデン山
 - 3 対象 中高年齢者92名(先着順)
 - 4 参加費 一七、〇〇〇円
 - 5 問合先 ☎〇二五〇六三六(坂井)・(夜)〇二五三三(加藤)、
〇二五二七(中村)
 - 6 申込方法 中高年登山委員会・郵便振替〇〇六八〇一八六〇
九〇
- 振込料一〇〇円は申込者負担・住所・氏名・☎番号の他通信欄に年齢・血液型記入のこと。メ切7月25日(火)

当連合会の前事務局長だった上村捨二郎氏が、在職時代からの持論としてきた主張を、「感動をキーワード」と題する冊子として刊行された。

前段は「感動」こそ公民館事業に不可欠のものとして、論理的分析と事例による解説を、後段は「集落公民館」を蚊帳の外に置く手はないという主張。いずれも、著者在職時代に本紙公民館月報

訂正のお願いとお詫び
前号(五〇七号)の講演の記述で誤植がありました。講師と読者の皆様にお詫びして訂正を願います。

- ① P5 二段、三、の右から2行目 直接距離 → 直線距離
- ② P5 五段、右から3行目 自重自足 → 自給自足
- P6 三段、右から2行目 婚前の父の → 婚前は父の

あとがき

◆県大会が近づきました。西蒲・燕地区では受け容れ準備におおわらわです。申し込みも順調です。祈るはつゆが上になって夏晴れのスカッとした中に迎えたいことです。

◆夏を待つ心は童の心とも言います。行動する中に成長と突りがあります。ご活躍を祈っています。(鴨)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 細川 仁

編集人 事務局長 鴨井 三郎

【定価1部150円 年共・年極1,800円】